

まちづくり交付金 事後評価シート
別府駅周辺地区




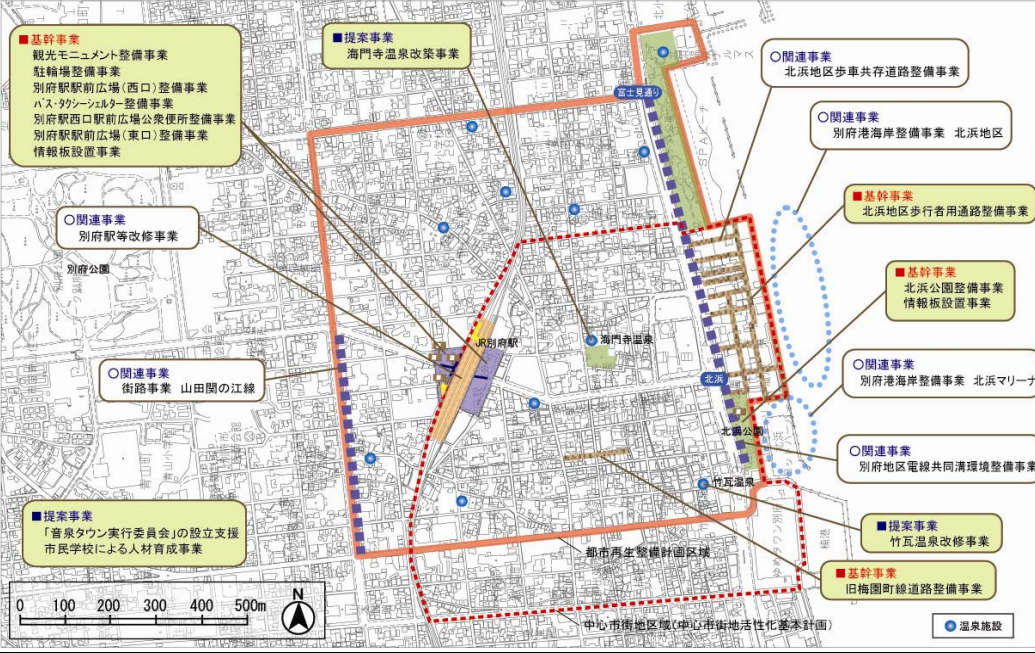



平成21年12月

大分県別府市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大分県		市町村名	別府市		地区名	別府駅周辺地区			面積	91.0ha			
交付期間	平成17年度～平成21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	662.7百万円	国費率	0.411					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	地域生活基盤施設(別府駅前広場整備(東口、西口)、情報板設置、自転車駐車場整備)、高質空間形成施設(観光モニュメント設置、バス・タクシーシェルター整備)										
			提案事業	地域創造支援事業(海門寺温泉改築事業、竹瓦温泉改修事業)、事業活用調査(市民意識調査)、まちづくり活動推進事業(市民学校による人材育成事業、「音楽タウン実行委員会」の設立支援)										
	当初計画から削除した事業		基幹事業	なし		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
			提案事業	なし										
	新たに追加した事業		基幹事業	公園(北浜公園整備)、高質空間形成施設(旧梅園町線道路整備、西口駅前広場公衆便所整備、北浜地区歩行者用通路整備)		高質空間形成施設の整備効果の向上を目的として追加		指標に対する影響は軽微のため数値目標は据え置く						
提案事業			なし											
交付期間の変更		当初	平成17年度～20年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		影響なし							
		変更	平成17年度～21年度											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期		
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	指標1	別府駅周辺地区の観光客数	人/年	3,348,000	H15	4,017,000	H21	4,088,797	4,112,681	○	あり なし	・駅周辺及び拠点施設の一体的な整備により、回遊性や利便性が向上し、まちの魅力アップにつながった。	平成22年8月	
	指標2	駅前広場内の迷惑駐輪台数	台	100	H16	0	H21		20	△	あり なし	・自転車駐車場の整備による駐輪可能台数の増加や駅前広場整備による景観や利便性の向上によって駅前広場内の迷惑駐輪が大きく減少し、事業による一定の効果はあった。 ・東口駅前広場南側の高架下店舗前は自転車駐車場から最も遠い場所のため、買物客等による短時間の駐輪が見られた。(迷惑駐輪は大半がこの一画であった)	平成22年7月	
指標3	竹瓦温泉の年間利用者数	人/年	88,973	H16	89,000	H21	88,407	88,179	△	あり なし	・年間利用者数は、事業実施以前は年々減少傾向となっていたが、事業実施後には減少傾向の改善が確認でき、目標達成には至らないが、一定の効果が見られた。 ・市の施策であるイベント時の無料入浴券の配布等により、無料利用者が増加したため、有料利用者の減少につながったと考えられる。	平成22年8月		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期		
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み				
	その他の数値指標1	JR別府駅の乗降客数	人/年	3,934,015	H16	/		4,024,444	4,096,995	/	/	・駅及び駅前広場の再整備により、バリアフリー化や乗換利便性が向上、交通結節機能の改善がなされ、乗降客が増加した。 ・自転車駐車場の整備により、サイクルアンドライド等による利用が増え、乗降客が増加した。	平成22年4月	
その他の数値指標2	竹瓦温泉の年間利用者数(無料利用者を含む全体利用者数)	人/年	106,384	H16	/		108,348	107,516	/	/	・老朽化した竹瓦温泉がリニューアルし、安心して入湯ができ、また、建物としての優れた景観がよみがえり、市民や観光客の利用が増加した。	平成22年8月		
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 別府駅の駅前広場等の整備により、利便性や景観が改善され、待ち合わせや交流人口の増加が確認された。また、自転車駐車場の整備によりサイクルアンドライドの増加が確認された。 駅前広場や公衆便所、北浜公園、海門寺温泉の整備事業実施において、住民参加による整備内容の検討を取り入れ、利用者の立場に合った整備を実施できた。 													
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング		毎年公表される統計データを確認し、指標の値の推移を把握した。				都市再生整備計画に記載し、実施できた				●		今後もデータの推移を確認し、効果の把握を行う。	
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
	住民参加プロセス		別府駅西口駅前広場整備、公衆便所整備に伴うワークショップを行い、住民意見を計画に反映させた。				都市再生整備計画に記載し、実施できた				●		今回の要望や意見を踏まえ、今後の施設整備等に役立てるとともに、利用者の視線での整備に努める。 ・施設等の整備等ではその都度説明会等を開催し、住民意見を十分に反映する。	
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
北浜公園整備に伴う地元説明会を計3回実施し、住民意見を計画に反映させた。				都市再生整備計画に記載し、実施できた				●						
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した										
海門寺温泉建替に伴う住民説明会を計3回実施し、住民意見を計画に反映させた。				都市再生整備計画に記載し、実施できた				●						
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した										
持続的なまちづくり体制の構築		まちづくり交付金により音楽タウン実行委員会の設立支援を行った。				都市再生整備計画に記載し、実施できた				●		駅周辺を重点的に今後も音楽イベント等の活動を継続し、市民や観光客にとって魅力ある空間を提供する。		
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2-2 地区の概要

別府駅周辺地区(大分県別府市) まちづくり交付金の成果概要						
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値		
大目標: 中心市街地の魅力と活力を向上させることにより、都市全体の活性化を図る。 目標: JR別府駅を中心とした一体的な整備と魅力的な都市空間の形成。 目標: 別府市のへそづくり。(別府駅前の「広場」整備による中心市街地活性化)	別府駅周辺地区の観光客数	単位: 人/年	3,348,000 H15	4,017,000 H21	4,112,681 H21	
	駅前広場内の迷惑駐輪台数	単位: 台	100 H16	0 H21	20 H21	
	竹瓦温泉の年間利用者数	単位: 人/年	88,973 H16	89,000 H21	88,179 H21	
	JR別府駅の乗降客数	単位: 人/年	3,934,015 H16		4,096,995 H21	
	竹瓦温泉の年間利用者数(無料利用者を含む全体利用者数)	単位: 人/年	106,384 H16		107,516 H21	
別府駅周辺地区の整備により、別府市の顔にふさわしい魅力あるイメージの演出を行いながら、周遊性のある賑わい空間の創出を図る。また、活発な都市活動を支え市民の快適な生活を維持し、市民生活に潤いをもたらす変化に富んだ高質な都市空間づくりを進める。						
 別府駅前広場整備事業	 駐輪場整備事業	 旧梅園町線道路整備事業		 北浜公園整備事業	 情報板設置事業	 竹瓦温泉改修事業
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 駅前広場や北浜公園が再整備されたことで交流空間が確保され、市民や観光客の憩いの場として利用されている。 温泉等の核となる施設を整備したことで回遊性が向上し、都市の活力低下が改善され、大型商業施設の出店によって商業機能の低下は改善された。また、中心市街地活性化の施策により、空地、空店舗対策を実施しているが、商店街には空地、空店舗が未だ残っている。 自転車駐輪場が整備されたことやガソリンの高騰などの社会情勢により、自転車による駅の利用者が増え、自転車駐車場内に放置自転車が多く見られるようになった。 					
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 駅前広場や北浜公園の交流空間を維持することにより、駅を中心とした地区内連携を強化し、中心市街地の活性化に寄与する。 拠点施設(駅周辺、公園、温泉)を活用し、中心市街地の交流の促進や回遊性の向上を図り、歩いて楽しい空間づくりに努め、都市活力のさらなる回復を目指す。また、市民と一緒に創り上げた施設等に関しては、施設の活用や維持管理について今後も検討を行っていく。 整備された駅前広場をJRと共同で適切な管理運営を行う。 中心市街地活性化計画に位置付けられた施策を実施し、商店街全体の活性化を図る。また、観光客のニーズに応じた観光戦略の検討を行う。 自転車駐車場内での放置自転車の管理を強化する。(放置自転車の撤去頻度を増やす) 					